

Micropul ミクロプル

作者:ジャン フランソワ ラソンデ

<http://neutralbox.com/micropul/>

(version 1.2.1) Feb. 24, 2004 c Jean-Francois Lassonde

プレイ人数: 1-2人

プレイ時間: 30分

日本語訳者: 佐藤 朗 "puppi" puppi@gamers-jp.com

作成日: 2005/2/01

Version: Rev .9

間違いなどありましたら、日本語訳者にご報告ください。

ミクロプルはエネルギーコアの中に発見された全く新しい物質です。ミクロプルからエネルギーを取り出すには沢山の費用を必要とし、世界中の科学者がこぞってより効率的な取り出し方法について研究をしています。エネルギーを発生させる一番簡単な方法はミクロプルをある種の触媒に打ち込むことでエネルギーコアからミクロプルを分離する方法です。”あなたの研究が正しければ、少量の電気で2倍のエネルギーを生み出すような効果が得られるかもしれません。これこそ未来のエネルギーなのです。。。”

コンポーネント

タイル 48枚

マーカー 6個(2色3個ずつ)

ゲームの目的

ゲームの初めに、プレイヤーは少ない枚数のタイルでスタートします。最初は効率良く新たなタイルを獲得するようにしましょう。ゲームの最終的な目的は出来るだけ多くのタイルを自分の山札に集め、場(プレイしたタイル群)により多くミクロプルグループを確保することです。ゲームはエネルギーコア(山札)からタイルが無くなった時点で終了し、得点の集計が行われます。

ゲームのルール

ミクロプルと触媒がどう反応しあうかが判れば、このゲームのルールを簡単に理解できるはずですが。ミクロプルとはタイルに描かれた白と黒の円です(左の図)。触媒はタイルに描かれた小さな点と十字マークの二つです(右の図)。

タイルには最低でも必ず1個のミクロプルが描かれています。これはミクロプルがタイル同士を結合するために必要な為です。下記のルールを必ず守り、ゲームをプレイしてください。

ルール#1

プレイするタイルはすでに置かれているタイルに隣接して繋がるように配置できなければなりません。そして、タイル同士は必ず最低一組のミクロプル同士が結合(隣り合っている)出来なければなりません。

ルール#2

異なる色のミクロプルは結合することが出来ません。たとえば、黒のミクロプルの隣に白のミクロプルが描かれているタイルを置く事は出来ません。

右の図の例では、緑色のタイルがプレイされました。#1の箇所では正常にマイクロプルが結合しています。しかし#2の箇所では異なる色同士のマイクロプルが置かれているので、結果的にこのタイルをこの位置に配置することは出来ません。このタイルは時計回りに90度回転させることにより配置することができるようになります。

触媒(点と十字マーク)にはマイクロプルのルールが適用されません。触媒は他の触媒の隣やマイクロプルの色に関係無く、隣接して配置することができます。触媒はタイルの結合に必ず必要ではありません。触媒はマイクロプルに隣接して配置することで触媒反応が起きます。

#### ゲームの準備

テーブルの真ん中にスタートタイルを表向きに配置してください。スタートタイルは黒色のマイクロプルが2個、白色のマイクロプルが2個、計4個のマイクロプルが描かれているタイルです(左の図参照)。

その他のタイルは裏向きにしてシャッフルし、いくつかの山に別けてまとめます。この山札群を”コア”と呼びます。

各プレイヤーは手札としてコアから6枚ずつタイルを引きます。手札は相手から見えないようにしてください。

各プレイヤーは自分の色を決め、任意の色のマーカーを3個ずつ受け取ります。

スタートプレイヤーをランダムに決めてください。

#### ゲームの進行

プレイヤーは自分の手番に、以下の三つの中から一つだけアクションを行うことができます。

- 1)手札からタイルを一枚プレイし、場にタイルを配置する。
- 2)自分の山札から手札へタイルを一枚補充する。
- 3)マイクロプルグループ上にマーカーを置く。

注意:プレイヤーは手番に必ず一つのアクションを行わなければなりません。(+触媒での追加アクションを除く)。プレイヤーは手番をパスすることはできません。プレイヤーの手番に手札と自分の山札にタイルが一枚も残っていないければ、そのプレイヤーの負けになります。

手札からタイルを一枚プレイし、場にタイルを配置する。

手札にタイルが一枚も無い場合、このアクションを行うことは出来ません。タイルを配置する目的は主に、出来るだけ多く触媒反応を起こさせコアから自分の山札に沢山のタイルを補充することです。

>ルール#1とルール#2に従い、手札からタイルを一枚プレイして場に配置します。

タイルが正しく配置されている事を確認したら、タイルに描かれている触媒が触媒反応を起こしたか確認してください。触媒反応は触媒が外部(隣接したタイル)のマイクロプルと結合することによりのみ起こります。

配置したタイルのマイクロプルが外部(隣接したタイル)の触媒と結合した場合にも触媒反応は起こります。

＞触媒反応には二通りの処理を行います。

1)点(触媒)と外部のマイクロプルが結合した場合、コア(山札)から自分の山札へタイルを引きます。引いたタイルは裏向きにして自分の前に自分の山札として積んでいきます。点には一つの物と二つ描かれている物があります。触媒反応が起きた点の数分のタイルをコアから引きます。

2)十字マークと外部のマイクロプルが最低一組でも結合した場合、手番を追加で行います。1回の手番に複数の十字マークによる触媒反応が起きた場合、追加される手番は一回だけです。ただし、続く手番で十字マークによる触媒反応が起きた場合には、連続して手番を行います。

1回の手番で触媒反応を起こした触媒は次の手番まで、再度触媒反応が起きることはありません。

自分の山札から手札へタイルを一枚補充する

手札は最高6枚までしか補充することは出来ません。手札を補充することにより、プレイできるタイルの選択肢が増えます。

＞自分の山札から任意のタイルを一枚引き、手札に加えます。

マイクロプルグループ上にマーカーを置く

手元にマーカーが残っていない場合、このアクションを行うことは出来ません。マーカーをグループに置く目的はゲーム終了時により多くの勝利点を得るように閉じられたグループを確保する為です。

＞グループの所有権を確保する為、好きなマイクロプルの上にマーカーを配置してください。プレイヤーはこのマイクロプルグループの所有権を確保したことになります。既に所有権が確保されているグループの上にマーカーを置くことは出来ません。所有権が確保されていない場合は、閉じられたグループの上にマーカーを置いて構いません。

マイクロプルグループとは？

マイクロプルグループとは、いくつかの同色マイクロプルが隣合って複数結合している状態を指します。マイクロプルグループには開いている物と閉じた物があります。勝利点を得られるのは閉じたマイクロプルグループだけです。

開いているグループ

開いているグループは拡張することが出来ます。新しいタイルをプレイし、グループに隣接させる事で新たなマイクロプルを結合することが出来ます。

閉じたグループ

閉じたグループとは周りを触媒や空白で囲まれている状態を指します。閉じたグループのマイクロプルはすべて囲まれ、新しいマイクロプルを隣接して結合することは出来ません。

例: 緑色のタイルが置かれることにより、白のマイクロプルグループが閉じます。このグループに10個のマイクロプルが含まれているので、ゲーム終了時に10勝利点の価値が有ります。

所有権が別々に確保されている二つのマイクロプルグループが結果的に一つになる場合があります。このグループは最終的に得点されることはありません。

大マイクロプルとは?

ゲームには4枚の大マイクロプルが含まれています。これらタイルは4個の同色マイクロプルが描かれている場合と同様に扱います。さらに大マイクロプルタイルには1個の触媒が描かれています。このタイルは四つの辺のすべてで触媒反応を起こすことが出来ます。触媒反応は通常通り触媒が1個ある場合と同じ処理を行ってください(反応する可能性がある辺は4つですが、実際に起きる反応は触媒1個分)。

ゲームの終了

ゲームはコア(山札)から最後のタイルが引かれた時点で終了します。まず、開いているマイクロプルグループに置かれているマーカーを取り除いてください。さらに同じマイクロプルグループの上に複数のマーカー(異なるプレイヤー、同じプレイヤーのマーカーも含む)が置かれている場合も、マーカーを取り除いてください。これらは無効なマイクロプルグループで得点されることはありません。

- 1) プレイヤーは自分の確保した閉じたマイクロプルグループに含まれているマイクロプル1個につき1点、得点します。大きなマイクロプルも1点だけです。
- 2) 自分の山札に残っているタイル1枚につき2点、得点します。
- 3) 自分の手札に残っているタイル1枚につき1点、得点します。

得点が一番多いプレイヤーが勝利します。得点と同じ場合は同点です。

ヴァリエント ソリテアプレイ:

ソリテアプレイは通常のゲーム通りに行い、最高ポイントを競います。1人で遊ぶ場合、十字マークの追加ターンは意味をなさないので、自分の山札にあるタイルを1枚表にしてください。自分の山札タイルは最後に2点ずつ得点されるので、十字マークを利用して予め必要なタイルだけを引くことが出来ます。